

小規模自治会（区）の統合・再編に
ついてのアンケート調査
報告書

平成23年10月

市民協働課

＝ 目次 ＝

1 アンケート調査の実施概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法	1
3) 調査の内容	1
4) 回収結果	1
2 調査結果	2
1) 地域について（問1～問2）	2
2) 自治活動について（問3）	3
3) 統合・再編について（問4）	3
4) 自由意見（問5）	4
3 今後の対応	6
4 調査票	7

小規模自治会(区)の統合・再編についてのアンケート調査報告書

〈平成23年10月／市民協働課〉

1 アンケート調査の実施概要

1) 調査の目的

近年、核家族化による世帯規模の縮小、高齢化による高齢者世帯の増加、市街地中心部および山間部地区における人口減少や世帯数の減少等により、市内の自治会規模の格差がひろがっている。このため、小規模な自治会では区長・組長ほかの各種役員のなり手がいない状況も現れていると共に、役員が複数の役を兼務しなければならないなど、住民の自治活動に対する負担も増えているという問題が生じている。

こうした状況を踏まえ、本調査は、特に比較的小規模と思われる50世帯未満の自治会(区)に対しアンケート調査をして、全体的な課題、個々の課題を把握し統合・再編等の課題解消を図ることを目的とするために実施した。

2) 調査の方法

- (1) 調査対象 50世帯未満の区
- (2) 配布数 49区
- (3) 調査方法 配布；郵送により配布
回収；返信用封筒により郵送回収
- (4) 調査時期 発送：平成23年8月16日
締め切り；平成23年9月15日

※平成23年9月26日到着分まで集計に加えました

3) 調査の内容

- (1) 区名
- (2) 地域が困っていること（該当するものすべてに○）
- (3) 自治活動で困っていること（該当するものすべてに○）
- (4) 区の統合・再編について（どちらか選択）
- (5) その他（自由意見）

4) 回収結果

回収結果は下記の通りで、回収率は87.8%でした。

- (1) 配布数 49 通
- (2) 返却数 43 通
- (3) 回収率 87.8 %

2 調査結果

1) 地域について

問1	区名
----	----

【省略】

問2	地域が困っていること（該当するもの全てに○をしてください。）
----	--------------------------------

地域が困っていることで多いものから、「高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加している」が8割ほどで最も多く、次いで3分の2が「人口が減少している」という課題を抱えている。
また、「子ども会等の行事ができない」が4割ほどあり、「防災面の不備・不安がある」が3割ほどあるという結果が分かりました。

◆問2の回答数&回答率

問2	回答数	回答率
1 人口が減少している	28	65.1%
2 高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加している	35	81.4%
3 人付き合いが希薄化している	11	25.6%
4 お祭りができない	8	18.6%
5 子ども会等の行事ができない	18	41.9%
6 清掃等の環境活動ができない	7	16.3%
7 誰が住んでいるかわからない	2	4.7%
8 防災面の不備・不安がある	14	32.6%
9 住環境が悪化している	6	14.0%
10 その他	4	9.3%
無回答	3	
総回答数	133	309.5%

◆問2のその他の意見

- ・一部、ごみ屋敷化している号があり、苦慮している。
- ・清掃範囲が広すぎる。
- ・市への要望がなかなか実施されない。意見が反映されにくい。
- ・土砂災害特別警戒区域が2か所ある。

2) 自治活動について

問3	自治活動で困っていること（該当するもの全てに○をしてください。）
----	----------------------------------

自治活動で困っていることで多いものから、「役員のなり手が少ない」が67.4%で最も多く、次いで「役員の負担が大きい」が65.1%で、3分の2が役員のなり手の負担についての課題が一番大きく、次に「高齢化により活動に支障が出ている」が4割ほどで、続いて「活動への参加者が少ない」が3割ほどあるという結果が分かりました。

◆問3の回答数&回答率

問3	回答数	回答率
1 役員の負担が大きい	28	65.1%
2 役員のなり手が少ない	29	67.4%
3 住民の関心度が低い	12	27.9%
4 活動への参加者が少ない	14	32.6%
5 未加入世帯が多い	1	2.3%
6 新旧住民の交流が図りにくい	3	7.0%
7 高齢化により活動に支障が出ている	17	39.5%
8 その他（小学生が現在2名で、活動に支障がある。）	1	2.3%
無回答	7	
総回答数	105	244.1%

3) 統合・再編について

問4	区の統合・再編について（どちらかに○をしてください。）
----	-----------------------------

統合・再編は今のところ必要でない地区は、6割ほどありました。しかし、3割は、統合・再編は必要あるとの回答でした。無回答は3件でした。

◆問4の回答数&回答率

問4	回答数	回答率
1 統合・再編は必要	13	30.2%
2 統合・再編は今のところ必要でない	27	62.8%
無回答	3	
総回答数	40	93.0%

◆問4の内訳

	必要		不必要		無回答	
30世帯未満	6件	30.0%	12件	60.0%	0件	0.0%
50世帯未満	7件	24.1%	15件	52.7%	3件	10.3%
	13件		27件		3件	

※30世帯未満・・・20件、50世帯未満・・・29件（平成23年4月1日現在）

◆問4の統合・再編の相手

問4-1	回答数	回答率
1 記述あり	7	53.8%
2 記述なし	6	46.2%

4) 自由意見

問5	その他（自由意見）
----	-----------

「区の統合・再編は必要と考える」と答えた区の見解は6件、「区の統合・再編は今のところ必要でない」と答えた区の見解は18件、どちらも答えなかった区の見解は1件でした。

「区の統合・再編は必要と考える」と答えた区の見解

番号	規模	内容
1	50世帯未満	世帯数が少なくなれば、組費の収入が少なく支出が増す。役員、神社等組費が一つになり、組としても会計上楽になる。
2	50世帯未満	統合についての準備のための委員会等（各区より各5人くらいずつ参加）を立ち上げて、統合した場合のメリット、デメリットを整理し、区民に説明するための方法があれば指導していただきたい。
3	50世帯未満	個人的見解としてだが、統合・再編についてのお話は大変ありがたいと思っている。10年先には行き詰まると思われるため、今から、区の総会などで統合の話をしており、区としてしっかり議論をし、数年先には実現するといいたい。
4	30世帯未満	当区は、分離・独立した経緯があり、その事でお互いの区の一部の人にはわだかまりがある。連合という形で何かいい方法があればと思う。当区は最高でも18軒、今では15軒。そのうち2軒は一人暮らしで、区の役員、改良組合、森林組合等々の役員を兼務し、40才台から役員（区長）を行うのが実情。3～4回区長が回ってきて、現役世代にとっては負担が大きく、今の時代では（65歳まで現役）区の行事、区長会の行事、市の行事などをこなすことが大変で仕事に支障が出てしまう。
5	30世帯未満	行政主導で統合・再編を早期に実施されたい。
6	30世帯未満	自治会規模の拡大が目的であり、その意味では連合区の考え方が一番障害が少ないと思われる。また、該当住民にとっても変化が少ない。

「区の統合・再編は今のところ必要でない」と考えた区の意見

番号	規模	内容
1	30世帯未満	統合・再編について必要性は感じるが、統合・再編しても区長が組長・班長に変わるだけで役員をできる人は同じで負担は変わらない。
2	50世帯未満	小さな区が統合・再編するにはそれぞれのしがらみを乗り越えなくてはならないので大変。それよりも、小さな区でも何とかやれるうちは、現状で行きたい。
3	30世帯未満	役員がより多忙になるので困る。
4	30世帯未満	統合しても、小中学生や行事に参加できる人材がいない。ただ、清掃も全部はできず、自分たちのやれる範囲内しかできない。
5	30世帯未満	小規模な自治会ほど面積が広く、統合再編すればさらに広い地域をカバーしなければならなくなり、役員の負担はさらに増大する。小規模区は毎年何かの役をやらなければならないが、そのためにまとまっているともいえる。地域は永年にわたり葬式など諸行事を通して絆を培っているため、隣といえど統合再編には大きなハードルがある。趣旨は理解できるが、そういう方向を目指すならもっと時間がある。
6	50世帯未満	将来的には必要になるかもしれない。
7	50世帯未満	現在特に困っていることはない。今のままの区でよい。
8	50世帯未満	今後も急激に世帯数が変動することはなく、小世帯数かもしれないが、独立した区で運営することが望ましい。
9	30世帯未満	当区は、二つに分かれており、行事のほとんどは組単位で行っている。区の行事は、年頭集会、お祭り、空缶拾いくらいである。町民ソフト、ティーボール等は宿区と合同で行っている。子供会も同様です。早急に統合再編は必要ないと思われるが、今後区の問題として協議していきたい。
10	30世帯未満	いずれの区とも距離が遠く、会合等参加しにくい。どちらかの風習や考えに一本化したくない。
11	30世帯未満	各区において財産管理しているところが多数あると思うが、そのようなところを全部すっきりさせないと統合は難しいと思う。（指針に出ていたものでそれでよいと思う。）
12	30世帯未満	今後の統合・再編につきましては市民協働課担当の方とご相談したいと思う。
13	50世帯未満	統合した場合のメリット（役員の負担軽減など）があると思うが、現在のところ区同士の再編は新たな競争意識が増える可能性あり。小さくまとまっていくことが今考えられる区の未来か。
14	50世帯未満	確かに人が減り、高齢者ばかりで不満、不安はあるが、統合というとそれぞれ区の個性が違うので難しいと思う。区民の同意が得られるか…
15	50世帯未満	各区によって、祭り等の行事が異なり、また、地区ごとに区の伝統を継承しているから、今のところ、統合は難しいと思う。
16	50世帯未満	村社会の中では、統合等により人的なつながりや伝統的な行事が失われていくことが懸念される。ただ、当区においても20世帯を割るような状況になれば根本的な見直しも必要と考えている。現状の各種組織のありようについて硬直的になっているところはないか。役員等の割り当てに工夫があってもよいのではないか。

17	30世帯未満	会員の高齢化が進んでおり、当区においては奉仕作業に80代の会員も参加を余儀なくされている状況である。今後奉仕作業の範囲を検討せざるを得ない。
18	30世帯未満	現在の区を確保していかないと区長会の運営ができない。戸数は少ないが現状のまましかどうしようもない。

どちらも答えなかった区の意見

地区	区	内容
1	50世帯未満	地区ごとの行事や慣習的な面でどのように折り合い、調整を図っていくのか等、事前協議、住民の理解等が必要となる。設問内容には困っていないが、5~10年先には直面する課題であると感じている。

3 今後の対応

- 全体的にみても、やはり、地域では高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加している点や、人口が減少している点が特に困っており、自治活動では、役員のなり手が少ない点や、役員の負担が特に大きな課題であるということが分かった。このことについては、連合自治会に報告して、今後の具体的な活動につなげることとする。
- 「区の統合・再編は必要と考える」と答えた区で、特に具体的な統合相手を示された区を中心に、説明の機会を提供し、組織や規約づくり、法人化、財産管理などの具体的な実務を支援することとする。
- 「区の統合・再編は必要と考える」と答えた区で、相手方が必要でないとする区の場合等は、出前教室などの説明の機会を提供し、市として、自治会の適正な規模についての考え方や、メリット、デメリットを説明し、統合・再編に向けての高揚を図る。

4 調査票

アンケート調査票

1. 区名 ()

2. 地域が困っていること（該当するもの全てに○をしてください。）

- ・ 人口が減少している
- ・ 高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加している
- ・ 人付き合いが希薄化している
- ・ お祭りができない
- ・ 子ども会等の行事ができない
- ・ 清掃等の環境活動ができない
- ・ 誰が住んでいるかわからない
- ・ 防災面の不備不安がある
- ・ 住環境が悪化している
- ・ その他 ()

3. 自治活動で困っていること（該当するもの全てに○をしてください。）

- ・ 役員の負担が大きい
- ・ 役員のなり手が少ない
- ・ 住民の関心が低い
- ・ 活動への参加者が少ない
- ・ 未加入世帯が多い
- ・ 新旧住民の交流が図りにくい
- ・ 高齢化により活動に支障が出ている
- ・ その他 ()

4. 区の統合・再編について（どちらかに○をしてください。）

- ・ 統合・再編は必要と考える。
→ 具体的な統合相手の区等があれば記入してください。 ()
世話人の方がみえましたら記入してください。 氏名 ()
電話番号 ()
- ・ 統合・再編は今のところ必要でないと考える。

5. その他

※統合・再編等について、ご自由に記載ください。
